

設定ガイド

ホームネットワークシステム
屋外バッテリーカメラキット

品番 **KX-HC300SK**



ホームユニット：
KX-HJB1000



屋外バッテリーカメラ：
KX-HC300S



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力
ください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、屋外バッテリーカメラの設置・接続について説明しています。屋外バッテリーカメラは、スマートフォン・タブレットなどにインストールした「ホームネットワーク」アプリケーションで操作します。使いかたは、アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）

- ホームユニットについてはKX-HJB1000の設定ガイドをご確認ください。

保証書 別添付

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（6～9ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

Printed in China



PNQX8283ZA

PNQX8283ZA C0816KM0 (E)

はじめに

本システムについて	3
付属品について	4

ご使用前に

安全上のご注意	6
使用上のお願い	9

設置の前に

使用可能距離について	14
設置場所の電波状態を確認するには	14
センサーについて	15
設置例	17
設置場所について	19

設置

各部のなまえとはたらき	21
状態表示ランプの表示	21
設置完了までのステップ	22
電池を入れる	22
電池を交換する	24
カメラをホームユニットに登録する	24
設置場所の確認	25
カメラを設置する	25

必要なとき

センサーの検知状況を確認する	33
人感（熱）センサーの検知範囲を調整する	34
「ホームネットワーク」アプリケーションでできること	38
「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスする	38
仕様	39
ライセンスについて	40

困ったとき

困ったとき	41
保証とアフターサービス	44

本システムについて

- 本システムは侵入や盗難などを防止することを目的とした製品ではありません。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本システムは無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付属品について

番号	品名	数量
①	ねじA (4 mm × 25 mm 先端が尖ったねじ)	4
②	ねじB (4 mm × 20 mm 先端が尖ってないねじ)	4
③	安全ワイヤーセット ・安全ワイヤー ・ねじ小 (2.6 mm × 10 mm) ・ねじ大 (4 mm × 25 mm) ・ワッシャー小 (φ9 mm) ・ワッシャー大 (φ16 mm)	1
④	センサー範囲調整キャップ	1
⑤	ねじ隠し用シート	1
⑥	カメラ作動中ステッカー	1
⑦	電池カバー	1
⑧	電池ボックス	1

①



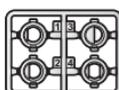
②



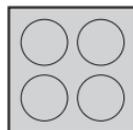
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



お知らせ

- 不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。
- 本キットには、カメラとホームユニットがあります。ホームユニットの付属品は、KX-HJB1000の設定ガイドをご確認ください。

microSDカードについて

本機の録画機能を使用する場合は、市販のmicroSDカードをお買い求めいただき、ホームユニットに挿入してください。

- 他の機器でフォーマットされたmicroSDカードは、ホームユニットで使用できない場合があります。以下のウェブサイトから「SD/SDHC/SDXCメモリーカードフォーマットソフトウェア」をパソコンにダウンロードし、microSDカードをフォーマットすることをお勧めします。（フォーマットすると、保存されているすべてのデータが削除されます）

http://av.jpn.support.panasonic.com/support/sd_w/download/index.html

使用可能なSDカードについて

- ホームユニットはSD規格に準拠した種類のmicroSDメモリーカードに対応しています。（本書ではmicroSDメモリーカードを総称して「microSDカード」と表記しています）
 - microSD/SDHCカード：容量32 GB以下に対応しています。
-

その他

- デザインや仕様は予告なく変更になることがあります。
 - 本書に記載のイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
 - 本書ではスマートフォン・タブレットを総称して「スマートフォン」と表記しています。
-

商標について

- microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

電池の取り扱いについて（市販の充電式ニッケル水素電池・アルカリ乾電池・リチウム乾電池）

危険

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 分解・改造しない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- ⊕⊖端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管しない



- ⊕⊖は正しく入れる
- 市販のニッケル水素電池は専用充電器で充電する

事故を防ぐために



禁止

- 液もれしたときは、“液”に触れたり目に入れない（皮膚や衣服に付いたり目に入ると、皮膚の障害や失明などの原因）
皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 状態の異なる電池を混用しない
新旧の電池、種類（充電式と乾電池、アルカリとマンガンなど）の異なる電池、銘柄・電池容量・充電状態（充電式の場合）の異なる電池など
- 乾電池を充電しない



- 使えなくなった電池はすぐに取り出す
- 長期間使わないときは、機器から電池を取り出す
- 漏液や異臭時は火気から遠ざける

注意

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 指定の電池以外は使用しない
- 水などの液体でぬらさない
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
- ストープのそば、直射日光の強いところなど高温の場所で使用・放置しない

本機全般の取り扱いについて

警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
修理は販売店へご相談ください。
- 機器内部に金属物を入れない
金属物が入った場合は、すぐに電池を取り出して販売店へご相談ください。
- ホースなどで直接、水をかけない※1
- 機器内部に水をかけたり、ぬらしたりしない※1
※1 ぬれた場合は、すぐに電池を取り出して販売店へご相談ください。
- 指定以外の機器は接続しない
- 設置の際の壁への穴開けは、屋内配線・屋内配管を傷つけない

警告

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- 医療機器の近くでの設置や使用をしない※1
手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※1
※1 本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因
- 付属のセンサー範囲調整キャップは、乳幼児の手の届くところに置かない
（誤って飲み込むおそれ）
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- 本体にぶらさがったりしない
（落下によるけがの原因）
- 落下させたり、強い衝撃を加えない
落下防止のため、本体に装着された安全ワイヤーを、確実に壁に取り付けてください。

警告



禁止

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない
石こうボード・コンクリートブロック・屋外に露出した木材・凹凸の激しい壁面など
（落下によるけがや、雨水などの浸入による火災・感電の原因）
- 心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す
（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります）

⚠ 注意

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- スピーカーに耳を近づけて使用しない
(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)



- 安全ワイヤーを必ず取り付ける
(落下によるけがの原因)
- インパクトドライバーは使わない
(ねじの破損による落下やけがの原因)

使用上のお願い

ホームユニットについて

- 本機は、ホームユニットと無線通信しています。電波が届きやすい、次の場所にホームユニットを置いてください。
 - ・ テレビやラジオ、パソコン、無線機器、または電話機などの電子機器から離れた場所
 - ・ 外部アンテナや携帯電話の基地局などの無線送信機に向き合わない場所
(ホームユニットを出窓や窓際に置かない)
- 詳しくは、ホームユニットの設定ガイドをご確認ください。

こんなところには設置しない

- 直射日光が当たる場所 (電池の液もれの原因)
テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン (インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く (ノイズ発生の原因)
- 本機に、過度の煙、ほこり、高温や振動を与えない
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さない
(撮像素子が破損する原因)
- 本機の上に重たいものを置かない
- 長時間お使いにならないときは、本機から電池を取り出す
- 火気・熱器具の近く (温度が -10°C 以下、または 50°C 以上の場所にも置かない。湿気の多い地下室なども避ける。)

ご使用の前に

- レンズカバーや人感（熱）センサーにキズや汚れをつけない
（きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなくなったり、変形や故障の原因）
- 電気機器の近くで本機を操作されると干渉を起す恐れがあります。電気機器から離してください。
- 本機はIP44相当の防水性能を有しておりますが、水がかかることが想定される場所に意図的に設置しないでください。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

- 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

傍受について

本機は通信にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

電波について

- 本機は、**1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備**です。
本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域

デジタルコードレス電話を示す下記のマークが表示されています。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

1.9-D

- **J-DECT** ロゴは、DECT Forum の商標です。J-DECT のロゴはARIB STD-T101 に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
 1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機から電池を取り出して、ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口（裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 2. その他、何かお困りのことが起きたときは、ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。

修理・譲渡・破棄・返却するとき

〈本機の修理を依頼するとき〉

- 修理後は、設定内容が変化またはお買い上げの状態に戻ることがありますので、あらかじめご了承ください。

〈本機を譲渡・破棄・返却するとき〉

「ホームネットワーク」アプリケーションを使って、登録したホームユニットからカメラを減設してください。

減設方法は、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(38ページ)

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 設定ガイドに従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

● 使用を中止するとき

- 「ホームネットワーク」アプリケーションを使って、登録したホームユニットからカメラを減設してください。減設方法は、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(38ページ)

減設後は、誤動作防止のため、本機から電池を取り出してください。

- 万一の落下防止のため、本機を壁から取り外してください。高いと

ころに取り付けている場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

- 停電すると使えません。

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

お手入れについて

- お手入れ時は、センサーの誤動作防止のため、本機から電池を取り出し、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

お願い

- ホースなどで直接、カメラに水をかけないでください。
- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因)

画質について

- 本機の画質について、以下のような場合があります。
 - ・ 色合いが、実際の色と異なる

ご使用の前に

- ・逆光のとき、人の顔が暗くなる
- ・夜など光源が乏しい場合に、画質が低下する
- ・外灯を映すと、周りがかすんだようになる
- 夜間などで暗いときは、本機に内蔵の赤外線LEDが点灯し、映像を白黒で表示します。
- 次のような場合は、人の顔が識別しにくくなります。
 - ・昼間など明るいときでも、カメラから約3 m以上離れたとき（日陰・逆光・撮影角度など、撮影環境によっては3 m以内でも識別しにくくなる場合があります）
 - ・夕方や夜間など、カメラの周囲が暗いとき
 - ・動いている人の撮影（映像がぶれます）

データを保護するために

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- データの読み出し中や書き込み中は、ホームユニットからmicroSDカードやACアダプターを抜かないでください。
（故障、データ破壊の原因）
- 電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などによってもmicroSDカード内のデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

使用済みの乾電池を捨てるとき

充電式ニッケル水素電池の場合

〈古いニッケル水素電池はリサイクルに…〉



Ni-MH

- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
 - 交換後不要になったニッケル水素電池、および使用済製品から取り外したニッケル水素電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
 - リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
 - 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
 - 一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
- 一般社団法人JBRCの
ホームページ
<http://www.jbrc.com>
- リサイクル時のお願い
 - ニッケル水素電池はショートしないようにしてください。（火災・感電の原因）
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - ニッケル水素電池を分解しないでください。

乾電池（アルカリ／リチウム）の場合

- 「燃えないゴミ」として、地域条例に従って処理してください。
- 端子を絶縁するためにテープを貼ってください。
（ショートによる液もれ・発熱・破裂の防止）

使用可能距離について

本機とホームユニットの通信可能距離は、約100 mです。

距離が離れていたり、次のような障害物があると、電波が弱くなり、通信ができない場合があります。

- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 複層ガラスの窓
- 壁を何枚も隔てたところ
- ホームユニットと別の階や家で使うとき

お知らせ

- ホームユニットとの通信が不良の場合は、カメラの【】Bを押すと、状態表示ランプが赤色に点灯または点滅します。このような場合は、ホームユニットを含むすべての接続を確認してください。
- カメラがホームユニットから離れていたり、壁などの障害物があって、スマートフォンに「圏外」と表示されて使えない場合は、別売品の中継アンテナ（品番：KX-FKD3）を設置すると、改善できることがあります。

設置場所の電波状態を確認するには

カメラの状態表示ランプで確認する

カメラがホームユニットに登録済みの場合は、カメラの【】Bを押すと、設置場所の電波状態を確認できます。状態表示ランプが緑色またはオレンジ色に点灯する場所に設置してください。

表示	状態
緑（点灯）	電波状態：強い
オレンジ（点灯）	電波状態：普通
赤（点灯）	電波状態：弱い
赤（点滅）	圏外

「ホームネットワーク」アプリケーションで確認する

「ホームネットワーク」アプリケーションでは、アンテナアイコンの本数で電波状態を確認できます。

- 中継アンテナを使用している場合は、スマートフォンで正確な電波レベルを確認することができません。カメラの状態表示ランプで確認してください。（14ページ）

表示	状態
3本	電波状態：強い
2本	電波状態：普通
1本	電波状態：弱い
0本	圏外

センサーについて

本機は、人感（熱）センサーを使用しています。

センサーの特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置してください。

お知らせ

- 本機のセンサー機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途に使用しないことをお勧めします。

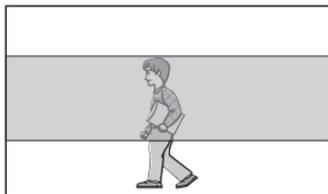
検知方法

撮影範囲内の、温度変化を検知します。

- 人や動物など、温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知します。

検知範囲

撮影範囲の一部（中央の網掛け部）を検知します。



- 検知する範囲を変更することもできます。「人感（熱）センサーの検知範囲を調整する」（34ページ）をお読みください。

設置の前に

- 人感（熱）センサーの前に障害物があると、人感（熱）センサーが反応しません。障害物を取り除くか設置場所を変えてください。

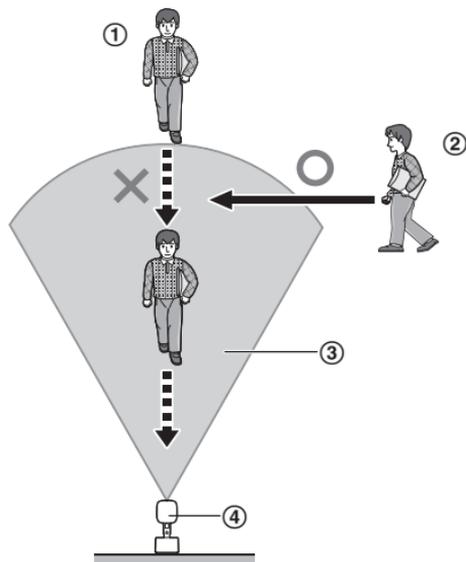
主な特性

夜間や冬場など外気温が低いときは、被写体と外気温の差が大きくなり、検知しやすくなります。

- 昼間や夏場など外気温が体温に近くなると、検知しにくくなります。
- 車のマフラーやボンネットなどの外気温との差が大きいものにも反応するため、撮影方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。

検知しやすい向き

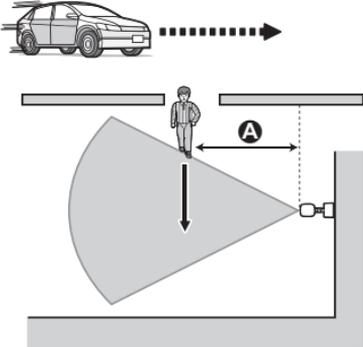
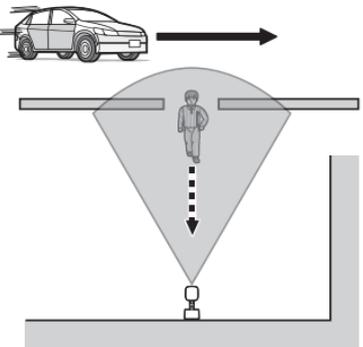
カメラを横切る動きは検知しやすく、カメラにまっすぐ向かう動きは検知しにくくなります。



- ①カメラにまっすぐ向かう動き
- ②カメラを横切る動き
- ③検知範囲
- ④カメラ

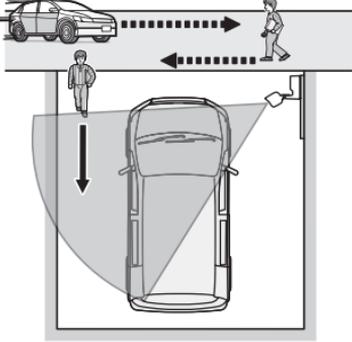
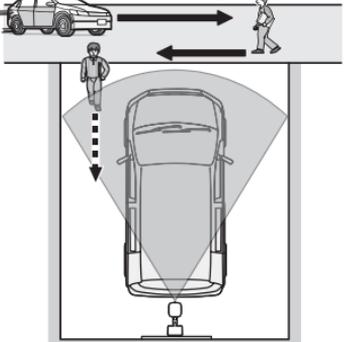
設置例

車道の車などは検知させず、玄関口（門）からの訪問者を検知したいとき

良い例	悪い例
 <p>A 約3 m 訪問者はカメラを横切り、車道の車はまっすぐ向かうので、誤検知は起こりにくくなります。</p>	 <p>車道の車が誤検知の原因になります。</p>

設置の前に

車道の車は検知させず、駐車場の中に入ってくる侵入者を検知したいとき

良い例	悪い例
	
<p>侵入者はカメラを横切り、車道の車はまっすぐ向かうので、誤検知は起こりにくくなります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 車高の高い車の場合、侵入者の顔が車に隠れないよう、カメラの設置位置や角度を調整してください。	<p>車道の車が誤検知の原因になります。</p>

設置場所について

変形・変色、故障・動作障害などを避けるために、下記のような場所には設置しないでください。

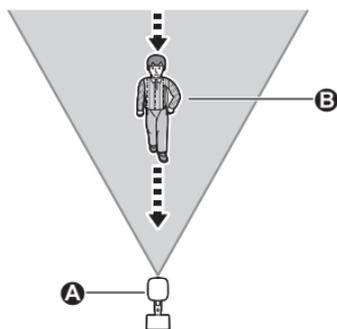
- 直射日光が当たる場所（特に猛暑日が続く地域）や外灯の真下など（周囲が動作温度内でも局部的に高温になるため、外気温が高い地域は軒下に設置するなどして遮光してください）
- 振動・衝撃や、反響の多い場所
- 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近くまたは、冷・暖房機（室外機を含む）の近く
- 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
- 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
- 温度変化が激しい場所（結露しやすくなります）
- 海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く（CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
- 硫化水素、アンモニア、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所

次の場所は、特に誤検知の原因になります

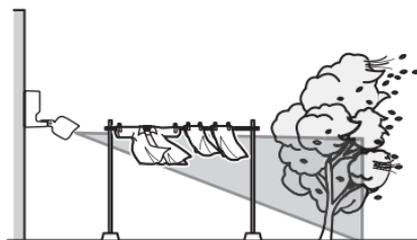
- 狭い通路などで、真正面から人物が近づいてくるような場所

Ⓐ カメラ

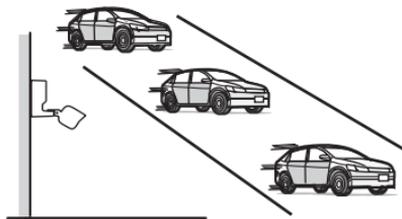
Ⓑ 検知しにくい



- 風などで動くような植木、洗濯物などがある場所（温度の変化による誤検知）

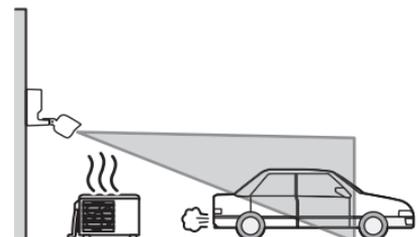


- 車の交通量が多い道路がある場所（約5 m以上離れていても、車にはセンサーが反応します）



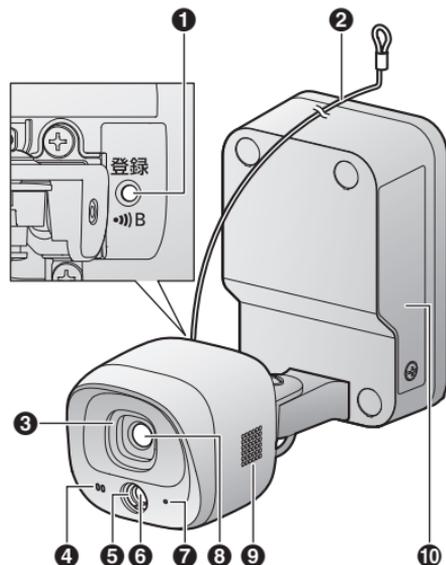
設置の前に

- 換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や、車の排気ガスなどの影響を受ける場所（急激な温度変化による誤検知）



- 強風の吹く場所（カメラが風で振動するため、誤って検知することがあります）
- 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- 明るさが変わりやすい場所（昼間でも木陰などで影になる、夜でも外灯で明るくなるなど）
- 下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、識別しにくくなります）
 - ・ マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所
 - ・ 正面に、直射日光が反射する白壁がある場所
 - ・ 直射日光が当たるような、明るい場所

各部のなまえとはたらき



① 【(B)】

カメラをホームユニットに登録するときや、電波状態を確認するときに使用します。

② 安全ワイヤー

③ レンズカバー

④ マイク

⑤ センサー範囲調整キャップ（標準）

⑥ 人感（熱）センサー

⑦ 状態表示ランプ

⑧ レンズ

⑨ スピーカー

⑩ 電池カバー

状態表示ランプの表示

カメラの状態を、状態表示ランプの表示色、点灯／点滅によってお知らせします。

- 設定により、状態表示ランプを点灯／点滅させないようにすることもできます。詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）
- 【(B)】を押して、設置モードにすると、電波状態を5分間、表示します。（設置モードを解除するには【(B)】を押す）

表示	状態
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラがホームユニットに登録済みで起動中 ● 電池切れ ● 状態表示ランプを点灯／点滅しない状態にしている
緑（点滅）	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラをホームユニットに登録中 ● カメラの映像をモニター中または録画中
緑（点灯）	設置モード中（電波状態：強い）
オレンジ（点灯）	設置モード中（電波状態：普通）
赤（点灯）	設置モード中（電波状態：弱い）

表示	状態
赤 (点滅)	設置モード中 (電波状態: 圏外)

設置完了までのステップ

1 初期設定

お使いのスマートフォンに「ホームネットワーク」アプリケーションをインストールし、初期設定が終了していることをご確認ください。初期設定の方法については、ホームユニットの設定ガイドをご確認ください。

- 初期設定後、ホームユニットのソフトウェアを更新してください。詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(38ページ)

2 電池の挿入

カメラに電池を入れます。

3 カメラの登録

カメラを単独でお求めになった場合に必要な作業です。

4 設置場所の決定

本書に記載の注意事項をお読みになり、カメラを使用するにあたって適切な設置場所を確認してください。また、設置場所にてカメラとホームユニット間の通信が良好であることも確認してください。

5 設置

設置場所にカメラを設置します。

6 人感(熱)センサーの検知範囲を調整

付属のセンサー範囲調整キャップを使い、人感(熱)センサーの検知範囲を調整してください。

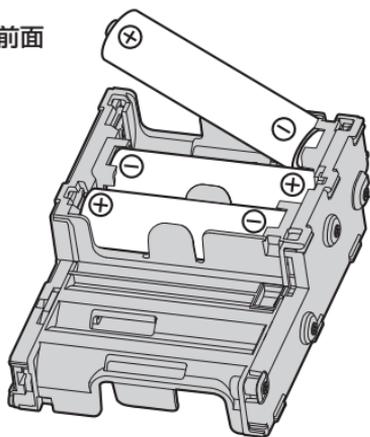
電池を入れる

単3形電池(8本)をご使用ください。

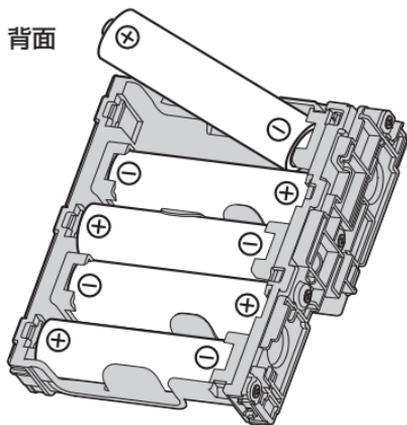
- 電池は付属されていません。「仕様」の「電源」欄(39ページ)を参照してご用意ください。
- 1 電池ボックスに電池を入れる
 - 新旧の電池、種類・充電状態の異なる電池を混用しないでください。

- 電池の⊕⊖は正しく入れてください。

前面

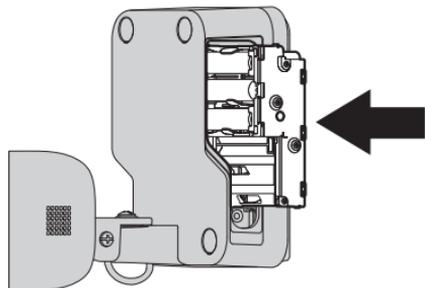


背面



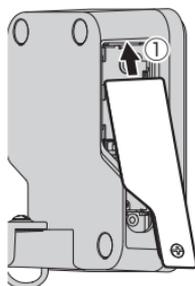
2 電池ボックスを本体に挿入する

- 「カチッ」と音がするまで、電池ボックスを押し込みます。

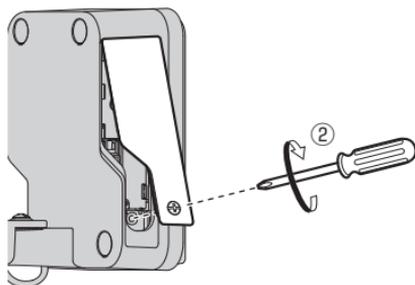


3 電池カバーを取り付ける

- ツメ (①) を差し込んでください。

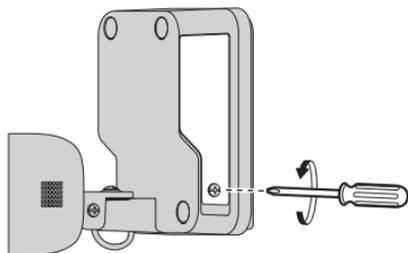


- ドライバーでねじを締めてください。(②)

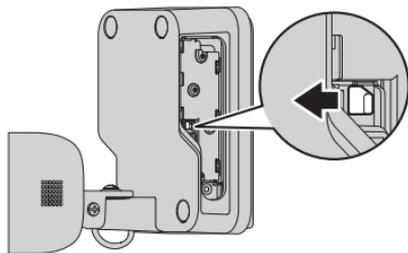


電池を交換する

- 1 ドライバーでねじをゆるめ、電池カバーを取り外す



- 2 レバーを押し、電池ボックスを取り出す



- 3 電池ボックスの電池を交換する
 - 新旧の電池、種類・充電状態の異なる電池を混用しないでください。
 - 電池の \oplus \ominus は正しく入れてください。
- 4 電池ボックスを本体に挿入する
 - 「カチッ」と音がするまで、電池ボックスを押し込みます。
- 5 電池カバーを取り付ける
 - ドライバーでねじを締めてください。

カメラをホームユニットに登録する

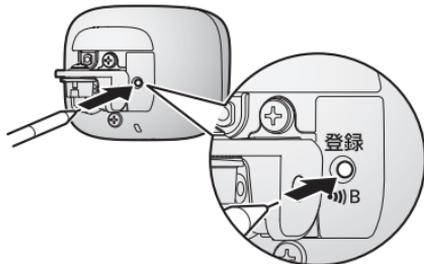
カメラをキット品の一部ではなく、単独でお求めになった場合はホームユニットへの登録操作が必要です。

カメラをホームネットワークシステムで使うには、ホームユニットに登録してください。

ホームユニット、カメラのボタンから、「ホームネットワーク」アプリケーションからの2種類の登録方法があります。

ホームユニット、カメラのボタンから登録する

- 1 ホームユニットの操作：
ランプが緑色に点滅するまで【】Bを押す
- 2 カメラの操作：
先の尖ったものを使って、状態表示ランプが緑色に点滅するまで【】Bを押す（21ページ）
 - 登録が完了すると、ホームユニットとカメラが「ピーッ」と鳴ります。



お知らせ

- カメラの登録を中断する場合は、ホームユニットの【**ⓑ**】を押してください。
- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピピピピピッ」、カメラは「ピピピッ」と鳴ります。

「ホームネットワーク」アプリケーションから登録する

詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）

登録完了後に「ホームネットワーク」アプリケーションを使用して、本機の設置場所や名前を設定することができます。

設置場所の確認

カメラの設置場所を決める前に「設置の前に」（14ページ）をよく読んで、カメラの設置場所と向きを確認します。

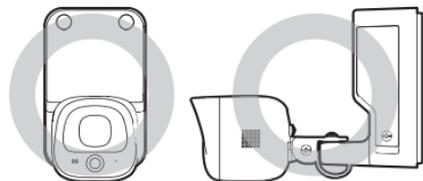
カメラを設置する

設置前のご注意

- 天井には、取り付けないでください。
- 雨どいなどから直接水がかかることを避けて設置してください。
- 壁への穴開け工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分には必ず防水処理をしてください。
- 付属の安全ワイヤーを使用して、必ず落下防止対策を行ってください。
- インパクトドライバーは使わないでください。ねじの破損による落下やけがの原因になります。
- 不安定な場所、振動の多い場所には設置しないでください。落下による破損やけがの原因になります。
- 強度の弱い壁には設置しないでください。落下による破損やけがの原因になります。
- 本体右側に電池を交換するためのスペースを設けてください。（電池交換には、約15 cm以上のスペースが必要です）
- 本機を以下のように取り付けないでください。内部に雨水などが入りません。
 - 上下逆にする

- 横置きにする
- 斜め置きにする
- 傾ける（傾斜のある壁などに設置する）

取り付け方向



悪い例

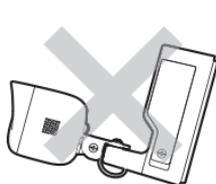
上下逆



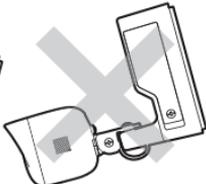
横や斜め



上に傾ける



下に傾ける



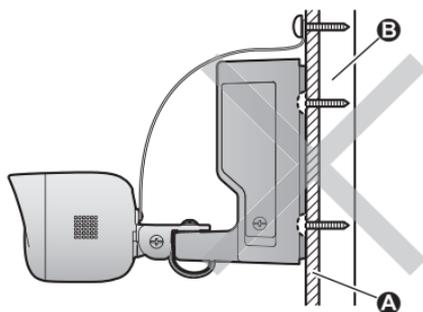
外壁材の種類に応じた注意事項

サイディングの場合

- 付属のねじA（呼び径4.0 mm、長さ25 mm）をお使いください。その際、ねじの引き抜き強度は、必ず1本あたり196 N（20 kgf）以上を確保できるように設置してください。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。サイディングの厚みなどにより、構造体で支持できない場合は、市販のねじ（呼び径4.0 mm、長さ25 mmより長いもの）を使用してください。
- サイディングの材質に適したドリルで下穴を開けてください。下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。

悪い例

外壁材のみへの取り付けは禁止

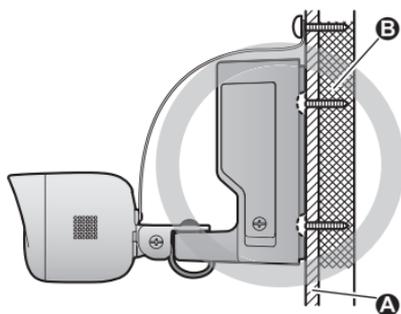


A サイディング

B 通気層などの空洞部

良い例

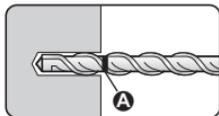
外壁材と構造体の両方に取り付ける



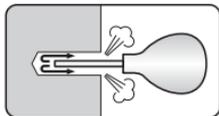
- A サイディング
● B 柱などの構造体

コンクリートの場合

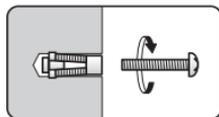
- 付属のねじは使えません。
市販のコンクリート用プラグボルト（ねじの呼び径4.0 mm、かつ、プラスドライバーで締められるタイプ）をお使いください。
 - 取り付け前に、プラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、プラグボルトを壁に取り付けてください。
 - 下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 1 下穴の深さの位置にあらかじめマーキング (A) し、下穴を開ける



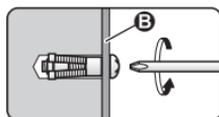
- 2 内部の粉を取り除く



- 3 プラグボルトを挿入後、ねじを抜いて仮固定する



- 4 ドライバーでねじを締める



B スタンドベース

ALC（軽量発泡コンクリート）の場合

- ALCパネルの種類（厚みなど）によっては取り付けられない場合があります。
取り付け前に、ALCパネルメーカーにお問い合わせください。
- 付属のねじは使えません。
- ALC/パネルメーカーにお問い合わせの上、市販の金属製のALC用アンカー（ねじの呼び径4.0 mm、かつ、プラスドライバーで締められるタイプ）をお使いください。
- 取り付け前に、アンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
- ALC用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール材（市販品）で防水処理をしてください。

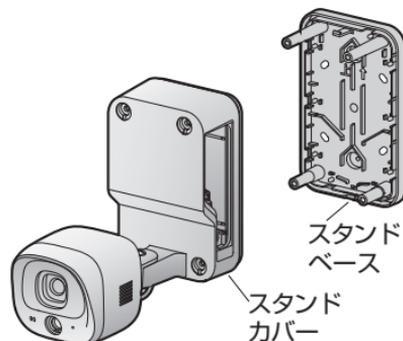
その他の壁（モルタル・タイル材など）

- 付属のねじは使えません。

- 住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカー使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

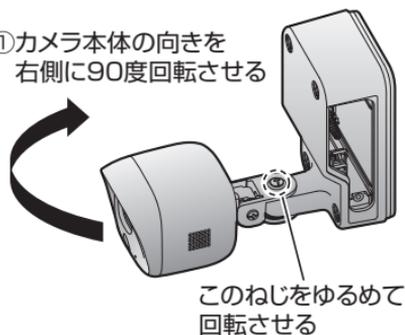
設置手順

- 1 電池を取り出す (24ページ)
- 2 テープで仮止めされたスタンドベースをカメラから取り外す

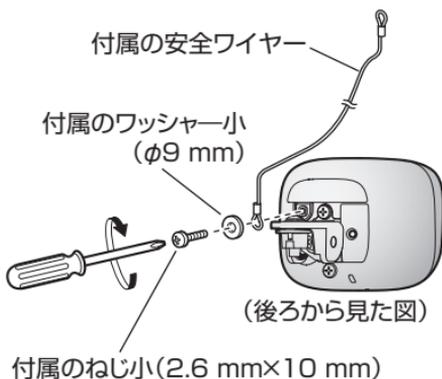


- 3 付属の安全ワイヤーをカメラ本体の裏側に取り付ける

①カメラ本体の向きを右側に90度回転させる

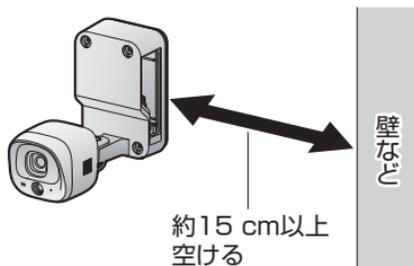


- ②カメラ本体の裏側に、安全ワイヤーを取り付ける



- 4 設置場所を決める (本体右側に最低 15 cm以上のスペースを空ける)

- 電池を交換するためのスペースが必要です。お使いのドライバーの長さに応じて調整してください。



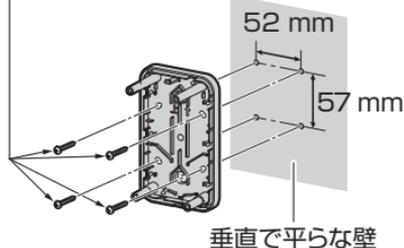
- 5 外壁材の種類に応じたねじ (4本) を使ってスタンドベースを壁面に取り付け、コーキングする

- スタンドベースは「上」の表示が上になるように取り付け、取付面はスタンドベース下部以外を防水シール剤などでコーキングし、すきまを埋めてください。(上下を逆にしたり、防水が不完全な場合、内部に雨水などが入ります)

例) 外壁材がサイディングの場合

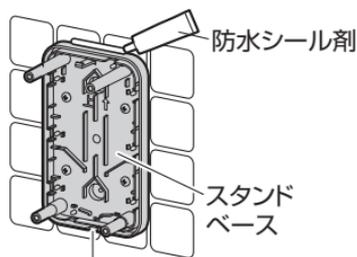
- ① 付属のねじA

(4 mm×25 mm、先端が尖ったねじ) 4本でしっかり取り付ける*



* 付属のねじB(長さ20 mm、先端が尖ってないねじ)で取り付けないでください。

②防水シール剤などで下部以外をコーキングする



下部は水抜き穴があるためコーキングしないでください。

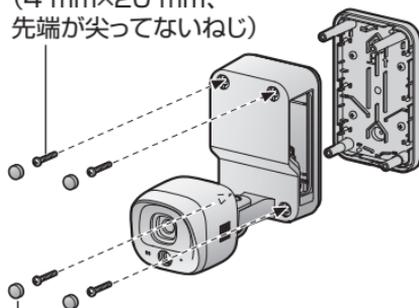
6 カメラをスタンドベースに取り付け、固定する

- 付属のねじB (4 mm×20 mm、先端が尖ってないねじ) 4本で取り付けたあと、ねじ隠し用シートを取り付けてください。

推奨締付トルク：1.0 N·m
(10.2 kgf·cm)

ねじA (長さ25 mm、先端が尖ったねじ) を使わないよう注意してください。

付属のねじB
(4 mm×20 mm、
先端が尖ってないねじ)

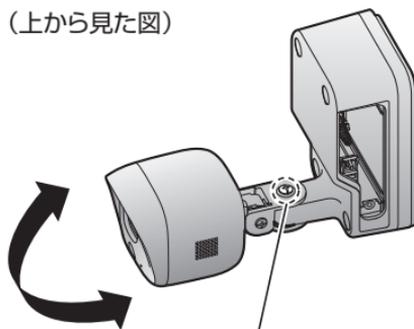


付属のねじ隠し用シート

ねじを締めるとき

カメラ本体が正面を向いていると、ねじが締めにくくなります。次の要領でカメラ本体を左または右に回転させたあと、ねじを締めてください。

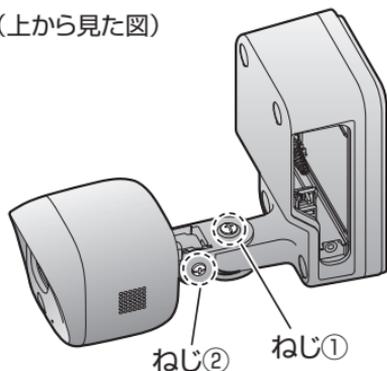
(上から見た図)



このねじをゆるめてカメラ本体の向きを左または右に変える

- 7 カメラ本体の角度を調整する
- ねじ②の反対側にある六角穴付ボルトは、角度調整ねじではありません。

(上から見た図)



ねじ①②の推奨締付トルク
0.7 N・m(7.1 kgf・cm)

左右の角度調整

1. ねじ①をゆるめ、左右の角度を調整する
2. ねじ①を締める

上下の角度調整

1. カメラ本体を片手で支えながら、ねじ②をゆるめて上下の角度を調整する
2. ねじ②を締める

- 8 電池を入れ、スマートフォンでカメラの画像を表示させ、撮影範囲の映像を確認する
- 電池の入れかた (22ページ)
 - スマートフォンを使って、カメラの設置場所で映像を確認しながら角度を調整してください。
 - 撮影範囲がずれていたときは、カメラの角度を調整し直してください。

スマートフォンでカメラの映像を表示するには

「ホームネットワーク」アプリケーションを使って、カメラの映像を表示します。

「ホームネットワーク」アプリケーションの使用方法については、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(38ページ)

1. 「ホームネットワーク」アプリケーションのメニュー画面で[カメラ]をタップする
2. 確認したいカメラの映像を表示させる

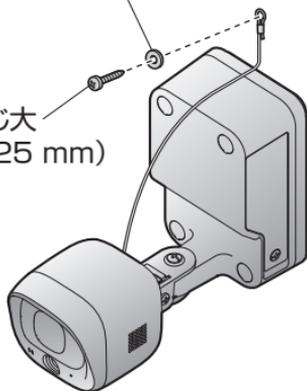
- 9 映像の確認やカメラ角度の微調整が終わったら、安全ワイヤーを壁に取り付ける

- 安全ワイヤーは、たわませた状態で取り付けてください。
- 壁への取り付けについて「外壁材の種類に応じた注意事項」(26ページ)を必ずお守りください。
- 万一、カメラが壁から外れた場合に、人に当たらないよう、安全ワイヤーは、なるべく高い場所に取り付けてください。

- カメラにぶらさがったりしない
てください。

付属のワッシャー大(φ16 mm)

付属のねじ大
(4 mm×25 mm)



センサーの検知状況を確認する

「ホームネットワーク」アプリケーションを使って、人感（熱）センサーによる検知状況を確認します。

「ホームネットワーク」アプリケーションの使用方法については、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）

- 1 カメラを設置している場所へ移動する
- 2 「ホームネットワーク」アプリケーションのメニュー画面で**[カメラ]**をタップする
- 3 確認したいカメラの映像を表示させる
- 4 **iPhone/iPad**
 をタップする
Android™機器
 お使いのスマートフォンなどのメニューボタンまたは  をタップする
- 5 **[バッテリーカメラの設定]** → **[センサー確認]** をタップする
- 6 **[人感センサー]** をタップする
- 7 スマートフォンの画面で、センサー検知状況を確認する
 - 検知させたい場所において、被写体（人物など）の進行方向でセンサーが検知することを確認してください。
 - 検知させたくない場所や被写体（通路を行き来する通行人や車、洗濯物など）で、センサーが誤って検知しないことを確認してください。

- センサーが反応すると、画面に「人感センサー」と表示されません。

- 8 確認が終わったら、**[設定へ戻る]** をタップする

お知らせ

- 人感（熱）センサーは、付属の「センサー範囲調整キャップ」で検知範囲を調整できます。（34ページ）
 また、感度・タイマーを設定することができます。詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）

マイクの動作確認

第三者に「ホームネットワーク」アプリケーションでカメラ映像を確認してもらっている間に、カメラのマイクに向かってはっきりと話しかけて確認してください。

人感（熱）センサーの検知範囲を調整する

人感（熱）センサーで検知させたくないものがある場合、センサー範囲調整キャップを取りかえることによって、検知範囲を調整することができます。

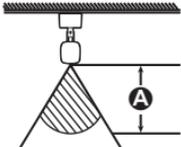
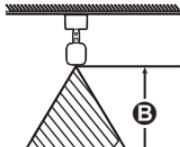
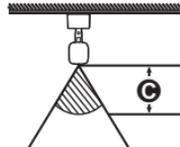
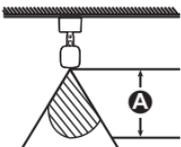
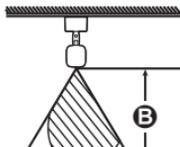
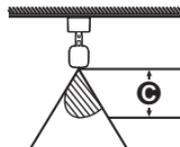
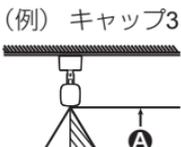
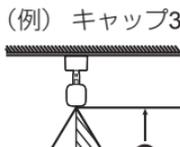
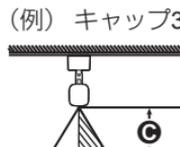
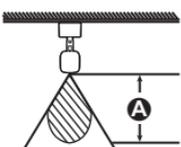
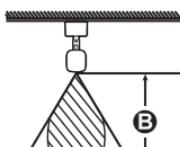
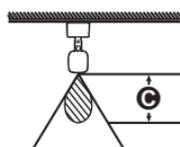
センサー範囲調整キャップの種類と検知範囲

標準のキャップ（本体に装着済み）のほかに、4種類（キャップ1～4）あります。

各キャップは、ふさぐ範囲が異なり、45度単位で回転させて取り付けることができます。

下記を参照のうえ、適切なキャップを適切な方向で取り付けてください。

- 検知範囲は、**[人感センサー感度]**の設定が**[標準]**の場合の目安です。詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）
- センサー範囲調整キャップを取り付ける角度に応じて、図の検知範囲も回転します。

キャップの種類	検知範囲の目安 (カメラを上から見た図) ※1		
	20 °C	0 °C	30 °C
両端とも検知させたい場合 標準 (本体に装着) 	 A 5 m	 B 6 m	 C 4 m
片側を検知させたくない場合 キャップ1  キャップ2  キャップ3 	(例) キャップ1  A 5 m	(例) キャップ1  B 6 m	(例) キャップ1  C 4 m
	(例) キャップ3  A 5 m	(例) キャップ3  B 6 m	(例) キャップ3  C 4 m
両側とも検知させたくない場合 キャップ4 	(例) キャップ4  A 5 m	(例) キャップ4  B 6 m	(例) キャップ4  C 4 m

※1 カメラ設置場所の周囲温度により変わります。また、数値はおおよその値です。検知範囲を斜線で示しています。

必要なとき

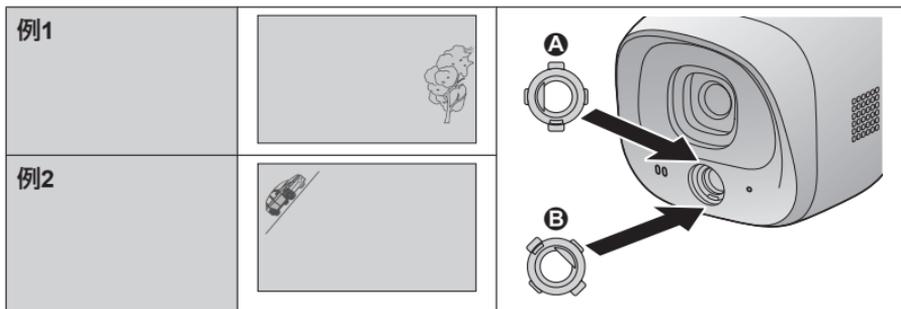
センサー範囲調整キャップを取り付ける角度について

例1

カメラから見て右側に、検知させたくないもの（木など）があるとき：
検知させたくない範囲に応じて、キャップ1～3のいずれかを（A）の向きで取り付ける

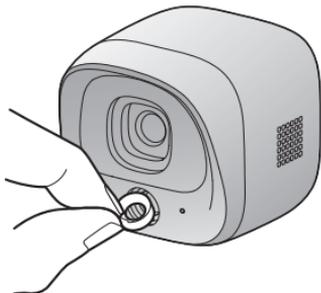
例2

カメラから見て左上に、検知させたくないもの（車道の車など）があるとき：
検知させたくない範囲に応じて、キャップ1～3のいずれかを（B）の向きで取り付ける



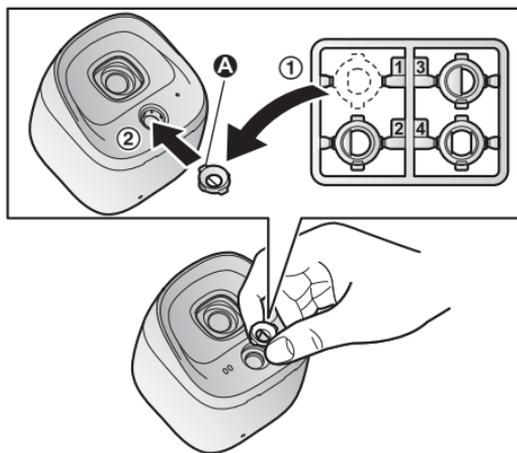
センサー範囲調整キャップの取り外し／取り付け

1 センサー範囲調整キャップ（標準）を取り外す



2 4種類のキャップのうちの1つ (①) を、センサーに取り付ける (②)

- キャップの種類や取り付け角度に応じて、キャップのツメ (A) を上方向または斜め45度に回転させてから、下記のようにカメラに取り付けてください。



「ホームネットワーク」アプリケーションでできること

「ホームネットワーク」アプリケーションを使って、下記のような機能を使うことができます。

詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（38ページ）

・モニター機能

カメラの映像をスマートフォンで確認（モニター）できます。

・センサー機能

カメラの有感（熱）センサーが反応したときのカメラの映像をスマートフォンで確認できます。

・通話機能

カメラ側にいる相手とスマートフォンで交互に話すことができます。

・録画機能

モニター中やセンサー検知時※1のカメラの映像を録画できます。録画した映像はホームユニットに挿入されているmicroSDカードに保存され、スマートフォンで再生／消去できます。電波状態によっては映像が欠落したり、乱れることがあります。

※1 「電池セーブ」を「標準」に設定、カメラに内蔵のセンサー反応による録画の場合、センサー検知の約3秒後からの動画が撮影されます。

・警戒モード機能

在宅時または外出時に動かせるセンサーを設定することができます。

「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスする

「ホームネットワーク」アプリケーションでの本機の使いかたについては、取扱説明書をご確認ください。

1 iPhone/iPad

「ホームネットワーク」アプリケーションのホーム画面で、をタップする

Android機器

「ホームネットワーク」アプリケーションのホーム画面が表示されているときに、お使いのスマートフォンなどのメニューボタン、またはをタップする

2 [取扱説明書]をタップする

お知らせ

- 取扱説明書を正しく表示するための推奨環境は以下のとおりです。
 - iOS 6.0以降
 - Android 4.1以降
 - Microsoft® Windows® Internet Explorer® 9以降
- 取扱説明書は、下記リンクからでもアクセスできます。



<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/hns/smp/manual/>

仕様

● 使用環境

温度：-10℃～50℃

湿度：20%～90%（結露なきこと）

本体

● 電源

単3形電池8本（パナソニック製 充電式エボルタハイエンドモデル推奨）※1

● 電池寿命

約6か月（推奨電池の充電式エボルタハイエンドモデルを満充電にして使用したとき）※2

約5か月（充電式エボルタスタンダードモデルを満充電にして使用したとき）※2

● 外形寸法（高さ×幅×奥行）

約153 mm×88 mm×201 mm

（正面設置時、カメラ、スタンドベース含む）

● 質量

約550 g（電池除く）

● 取付方法

専用のスタンドベースを使用

● 無線通信方式

1.9 GHz TDMA-WB

● 使用可能距離

約100 m／見通し距離

● 撮像素子

CMOS 30万画素

● 出力映像

VGA/QVGA

● 最低被写体照度

0ルクス※3

● 焦点距離

固定（0.5 m～∞）

● 撮影範囲（カメラ画角）

水平：約70°

垂直：約53°

● センサー検知方式

人感（熱）センサー（焦電型赤外線センサー）

● 人感（熱）センサー検知範囲

水平：約70°

垂直：約20°

検知距離：約5 m※4

● 防塵・防水性

IP44※5

● 取付角度調整（取り付け時に設定可）

水平：約±90°

垂直：正面～下方向へ約65°

※1 その他の充電式ニッケル水素電池、アルカリ乾電池、リチウム乾電池もお使いいただけますが、次の点にご注意ください。

- 電池寿命が短くなることがあります。

- 電池の保証温度・湿度の範囲内でお使いください。

- リチウム乾電池の場合は、公称電圧1.5 V以下のものをお使いください。（製品の破損防止）

※2 次の条件で使用したときの目安です。

- 使用環境温度20℃で1日10回、1回につき約10秒間映像を表示または撮影

- 「電池セーブ」設定を「セーブ」に設定（「標準」に設定すると電池寿命は最大ハイエンドで約3か月、スタンダードで約2.5か月）

※3 周囲が暗いときは本機に内蔵の赤外線LEDが点灯して、映像を白黒で表示します。

※4 使用環境温度が20℃のとき

※5 防塵性規格等級4：

直径1.0 mm以上の固形物が侵入しないレベル
防水性規格等級4：
あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

ライセンスについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- i. 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
- ii. 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

困ったとき

センサーの動作

センサーが誤動作する（人がいないのに反応する）

- 車が通るたびに反応する
 - 次の場合は、温度変化を検知して人感（熱）センサーが反応することがあります。
 - ・ 検知範囲に車が入り込んだとき
（車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても人感（熱）センサーが温度変化を検知すると反応します）
 - ・ 検知範囲に、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき
 - ・ 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき
- 人感（熱）センサーが誤検知する場合、付属の「センサー範囲調整キャップ」で検知範囲を調整するか（34ページ）、人感（熱）センサーの感度設定を調整してください。（33ページ）

<上記以外で人感（熱）センサーが誤動作する>

- 次のような場所で、誤動作することがあります。
 - 直射日光の当たる場所
 - エアコンの本体や室外機の近くなど、温度変化の激しいところ
 - 油污れが付いたり、蒸気がかかる場所
 - 外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
 - 火気・熱器具の近く
 - 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生するものの近く
 - 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
 - 温度に影響するような強い発光物（蛍光灯など）がある場所
 - 携帯電話など強い電波を発信する製品の近く
- 冬場など、気温が低いと検知距離（5 m）が長くなり、検知しすぎる場合があります
→人感（熱）センサーの感度設定をより低い感度に変更してください。（33ページ）

困ったとき

センサーが反応しない

- 人感（熱）センサーがはたらかない
- 次の場合は、反応しないことがあります。
 - 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき
 - 人感（熱）センサーに雪が付いたとき
 - カメラの正面から人が近づいてきたとき
- 夏場など、気温が人の表面温度に近いときは、検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。
→人感（熱）センサーの感度設定を、より高い感度に変更してください。（33ページ）

人感（熱）センサーが反応しにくくなった

- 人感（熱）センサーの表面が汚れています。
→表面を柔らかい乾いた布で拭いてください。

正面方向から近づいてくる人を検知できない

- カメラの正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。
→検知させたい人物がカメラを横切るようにカメラの設置場所を変更してください。
(人物は横向きに映りやすくなります)

映像について

人がいるのに、人物がまったく、またはほとんど映っていない

- 次のような場合、うまく撮影できないことがあります。
 - センサーの検知エリアの境界付近にいる人などの動き
 - カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人などの動き
 - カメラの近く（約1 m付近）を横切った人などの動き

映像がはっきりしない（焦点が合わない）

- カメラのレンズカバーに汚れなどが付いていませんか？
→レンズカバーを柔らかい乾いた布で拭いてください。

映像が適切な明るさにならない

- カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。
→約1秒お待ちください。自動で補正されます。

画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが識別しにくい

- 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが識別しにくくなります。（故障ではありません）
→補助灯などの設置をお勧めします。

被写体が白黒（または青紫）っぽく映る

- 夜間などカメラの周囲が暗いときは、赤外線LEDにより、被写体が白黒（または青紫）っぽく映ります。
→補助灯などの設置をお勧めします。

被写体がぶれる

- 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません）
- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。
→補助灯などの設置をお勧めします。

映像に白点または色のついた光の点が表示される

- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません）
→補助灯などの設置をお勧めします。

電池について

電池切れが早い

- 「仕様」（39ページ）に記載の電池寿命は推奨電池を一定条件で使用時の目安です。使用する電池や使用環境条件によって電池寿命は短くなります。（故障ではありません）
- 次の場合は、カメラがホームユニットの電波を探る動作を繰り返すため、電池の消耗が早くなります。
 - ホームユニットの電波が届いていない
→設置場所の電波状態を確認し、カメラの近くなど電波の強い場所にホームユニットを移動させてください。（14ページ）
 - ホームユニットの電源が入っていない
→ホームユニットのACアダプターを接続してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

ご相談の前に

- ①41～43ページの「困ったとき」をご確認ください。
- ②裏表紙のパナソニック総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

品 番

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名 屋外バッテリーカメラ
- 故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

- 修理・返却後にお客様自身で接続機器、スマートフォン、タブレットへの登録が必要になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙のファクス・電話機・ドアホンで相談窓口、修理ご相談窓口にご連絡ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>



使い方・お手入れなどのご相談

ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口



フリーダイヤル

0120-878-983

06-6907-1187

パナは キュウハチサン

受付時間
9:00~20:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAXフリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談

修理で相談窓口



フリーダイヤル

0120-878-554

03-6633-6700

パナは イイヨ

■上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAXフリーダイヤル
03-6633-6700 0120-878-225

便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>



- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・修理は宅配便による引取・配送サービスも承っております。(保証期間内は無料)
- ・本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2016